各　位

平成26年3月31日

会 社 名　　三菱自動車工業株式会社
代表者名　　取締役社長　益 子　修
コード番号　　7211　東証第１部
問合せ先　　常務執行役員 経営企画本部長
黒井義博
（Ｔｅｌ．０３－６８５２－４２０６）

フィリピンにおける生産体制の再構築について

当社は、フィリピンにおける生産・販売会社であるミツビシ・モーターズ・フィリピンズ・コーポレーションが、FORD MOTOR COMPANY (PHILIPPINES), INC.の所有する工場跡地(ラグーナ州ラグーナ市)を取得し、現本社・工場（リサール州カインタ市）から移転の上、2015 年 1 月より順次生産を開始すると発表しましたので、添付プレスリリースのとおりお知らせいたします。

以上

Drive@earth

MITSUBISHI MOTORS

Press Information

DATE 2014 年 3 月 31 日
No. 4768

フィリピンにおける生産体制の再構築について

三菱自動車は、フィリピンにおける生産・販売会社であるミツビシ・モーターズ・フィリピンズ・コーポレーション(以下、MMPC)が、FORD MOTOR COMPANY (PHILIPPINES), INC.の所有する工場跡地(ラグーナ州ラグーナ市)を取得し、現本社・工場(リサール州カインタ市)から移転の上、2015 年 1 月より順次生産を開始すると発表しました。

三菱自動車は、長年にわたりフィリピンにおける車体の生産・販売事業に取り組んでいますが、MMPCはこの間、同国の自動車生産会社として初めて累計生産 50 万台を達成するなど、同国の自動車産業とともに成長・発展を続けてきました。
MMPC は、本社・工場を移転して生産体制の再構築を図り、今後も自動車市場の持続的拡大が見込まれるフィリピンにおいて、将来の成長に備えていく計画です。

三菱自動車は、2016 年度までの中期経営計画「ニューステージ 2016」において、その事業戦略の柱の一つとして「アセアン地域の生産体制強化」を掲げており、フィリピンにおける生産体制の強化もその一環となります。長きにわたる事業の歴史と地域に根付いた事業活動が受け入れられ、フィリピンでは高い販売シェアを維持していますが、今後も販売拡大に向けて、生産体制の再構築を含めた事業基盤の強化に取り組んでいきます。

【 Mitsubishi Motors Philippines Corporation (MMPC) の概要 】

設立(MMPC の前身)	1972 年 5 月	
本社・工場所在地	フィリピン リサール州 カインタ市	
資本金	1,640 百万ペソ	
主な事業内容	三菱自動車の生産及び販売	
代表者	柴田 彦三郎(社長)	
株 主	三菱自動車工業株式会社 51%、双日株式会社 49%	
生産能力	3 万台/年	
販売車種	【フィリピン生産】	ランサーEX、アドベンチャー、L300
	【タイ生産】	ミラージュ、ミラージュ G4(アトラージュ)、モンテロスポーツ(パジェロスポーツ)、L200、ストラーダ
	【日本生産】	ASX、パジェロ
2013 年販売実績/シェア	42,360 台/20.5%	

以 上

【お問い合せ先】
広報部 メディアリレーショングループ担当: 山西、川辺
代表 03-6852-4274・4276